

株式会社 千趣会 2012年度決算説明会
2013年2月7日

- 

1. 2012年度連結業績について
- 

2. セグメント別概況について
- 

3. 2013年度連結業績計画について



1. 2012年度連結業績について

2012年度連結決算損益(対前年比較)

(単位:百万円)

	2011 年度		2012 年度		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
◆ 売上高	137,261		145,750		8,489	6.2%増
◆ 売上原価	71,311	52.0%	76,392	52.4%	5,081	0.4%
◆ 売上総利益	65,950	48.0%	69,357	47.6%	3,407	△ 0.4%
◆ 販管費	62,842	45.8%	67,248	46.2%	4,406	0.4%
◆ 営業利益	3,107	2.3%	2,109	1.4%	△998	△ 0.9%
◆ 経常利益	3,233	2.4%	2,765	1.9%	△468	△0.5%
◆ 当期純利益	1,583	1.2 %	2,029	1.4%	446	0.2%
◆ 1株当たり当期純利益	36.56円		46.86円		10.3円	
◆ 自己資本利益率	3.9%		4.7%		0.8%	

2012年度連結貸借対照表(対前年比較)

(単位:百万円)

資産の部

	11年度末	12年度末	増減額	コメント
流動資産	44,482	46,248	1,766	<ul style="list-style-type: none"> 未収入金:+11億円 為替予約:+7億円
固定資産	45,959	46,639	680	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産:+17億円 無形固定資産:△6億円
資産合計	90,441	92,887	2,446	

負債の部

流動負債	41,244	37,062	△4,182	<ul style="list-style-type: none"> 為替予約:△19億円 仕入債務:△12億円 短期借入金:△4億円
固定負債	7,753	10,892	3,139	<ul style="list-style-type: none"> 長期借入金:+30億円 社債:△7億円
負債合計	48,997	47,955	△1,042	

純資産の部

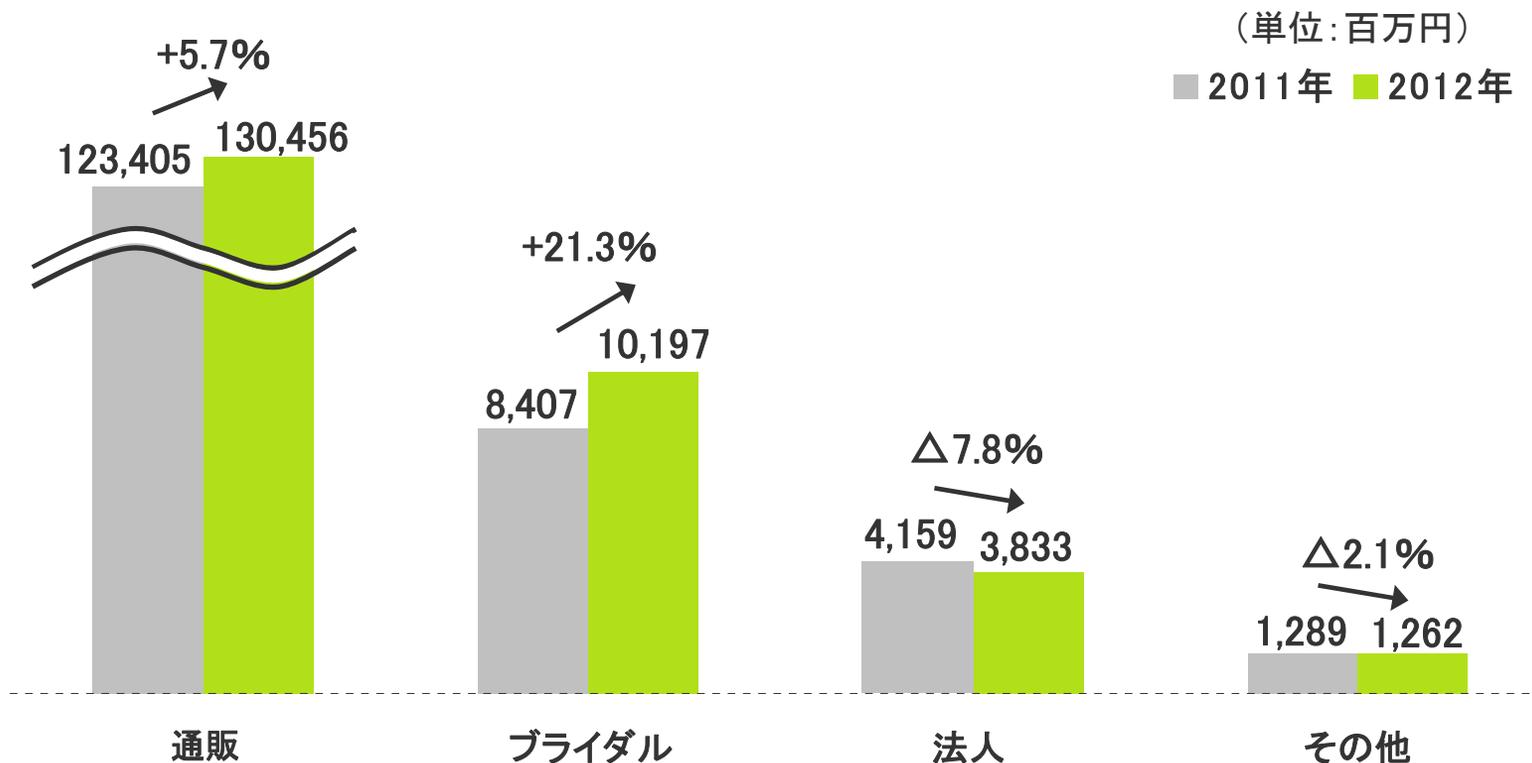
株主資本	50,910	52,203	1,293	<ul style="list-style-type: none"> 利益剰余金:+12億円
その他の包括利益 累計額	△9,465	△7,271	2,194	<ul style="list-style-type: none"> 繰延ヘッジ損益:+16億円 その他有価証券評価差額金:+4億円
純資産合計	41,444	44,932	3,488	
負債・純資産合計	90,441	92,887	2,446	

2012年度連結キャッシュフロー計算書(対前年比較)

(単位:百万円)

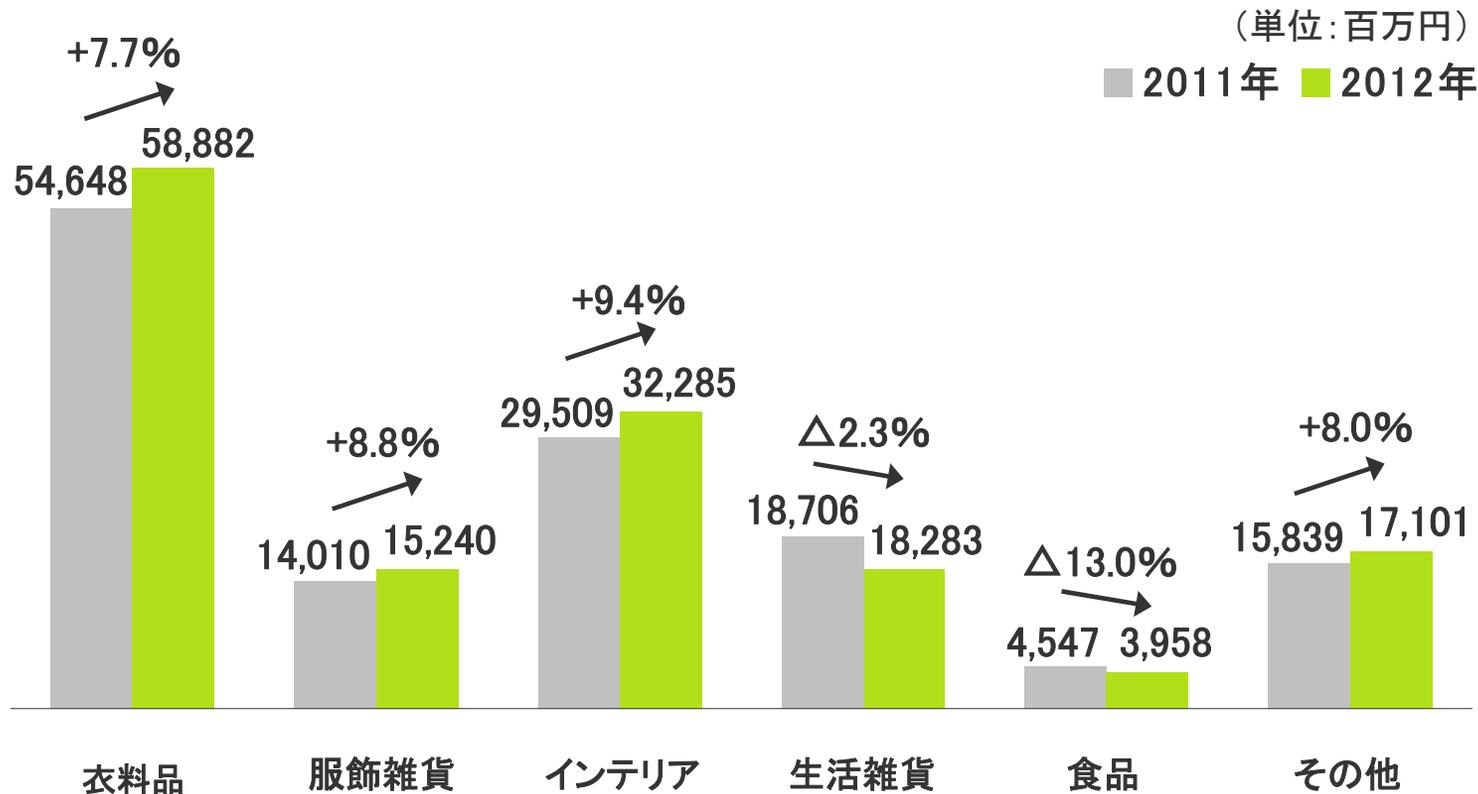
	2011年度	2012年度	増減額	12年度の主な内容
◆ 営業活動による キャッシュ・フロー	448	2,337	1,889	<ul style="list-style-type: none"> ■ 税金等調整前当期純利益 : +24億円 ■ 減価償却費 : +27億円 ■ その他の流動資産の増加 : Δ13億円 ■ 仕入債務の減少 : Δ12億円
◆ 投資活動による キャッシュ・フロー	Δ2,077	Δ3,606	Δ 1,529	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有形固定資産の取得による支出 : Δ25億円 ■ 無形固定資産の取得による支出 : Δ11億円
◆ 財務活動による キャッシュ・フロー	Δ1,727	991	2,718	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期借入れによる収入 : +57億円 ■ 長期借入金の返済による支出 : Δ16億円 ■ 短期借入金の減少 : Δ15億円
◆ 現金及び現金同等物の 期末残高	7,500	7,452	Δ 48	

2012年度連結セグメント別売上高(対前年比較)



- 通販事業：クロスメディアプロモーション施策や、ネット売上伸張による増加
- ブライダル事業：新ゲストハウスオープンにより売上増加
- 法人事業：大口受託先の契約終了による減少

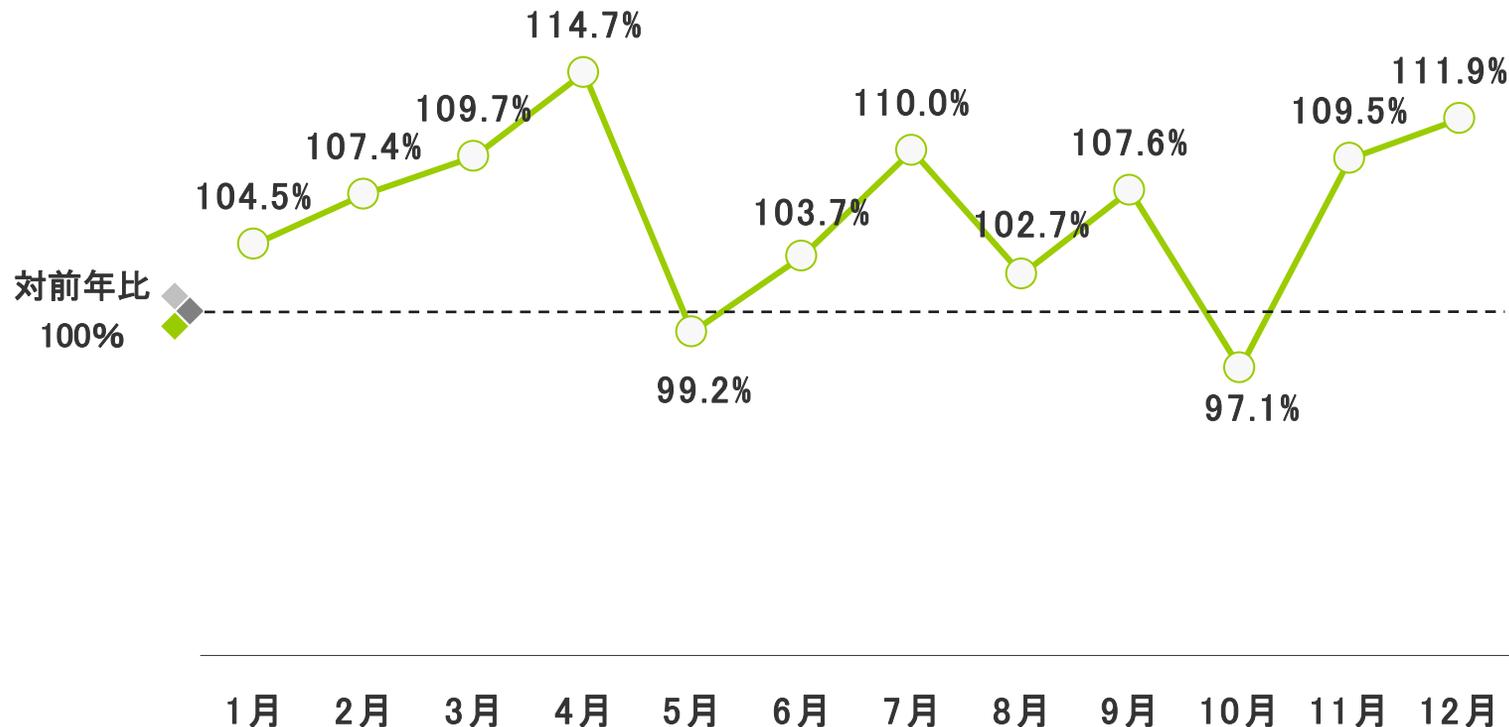
2012年度連結ジャンル別売上高(対前年比較)



- 衣料品： 婦人衣料全般（アウター・実衣料）とマタニティ&ベビーが好調
- インテリア： ファブリック・寝具が好調

2012年度連結月次売上高の推移

■ 連結月次売上高



- 売上は、クロスメディアプロモーションやネット売上の更なる伸張により増加
年間購入者数も400万人を突破！
- 5月度及び10月度は天候不順による夏物及び秋物の出足が低調となったが全般的には比較的好調に推移した。



2. セグメント別概況について

2012年度セグメント別損益(対前年比較)

(単位:百万円)

◆ 通販事業

	2011年度	2012年度	増加額	前年対比
売上高	123,405	130,456	7,051	+5.7%
営業利益	2,183	994	△1,189	△54.4%

◆ ブライダル事業

売上高	8,407	10,197	1,790	+21.3%
営業利益	482	752	270	+55.8%

◆ 法人事業

売上高	4,159	3,833	△326	△7.8%
営業利益	448	396	△52	△11.5%

◆ その他

売上高	1,289	1,262	△27	△2.1%
営業利益	△14	△33	△19	—

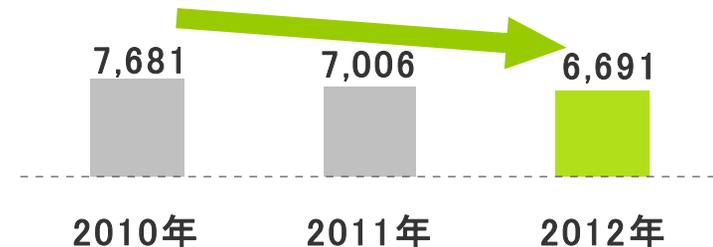
通販事業の概況(対前年比較) ※頒布会事業除く

	2011年	2012年	増減
◆ 年間購入者数(万人)	375.6	409.1	33.5
◆ 1件当たり受注単価(円)	10,985	10,563	△422
◆ 注文回数(回)	2.91	2.96	0.05
◆ カタログ部数(万部)	7,006	6,691	△315
◆ 新規会員(万人)	74.2	91.8	17.6
◆ 1個当たり受注商品単価(円)	2,738	2,553	△185
◆ 年間受注金額(円)	32,006	31,301	△705

■ 年間購入者数推移 (単位:万人)

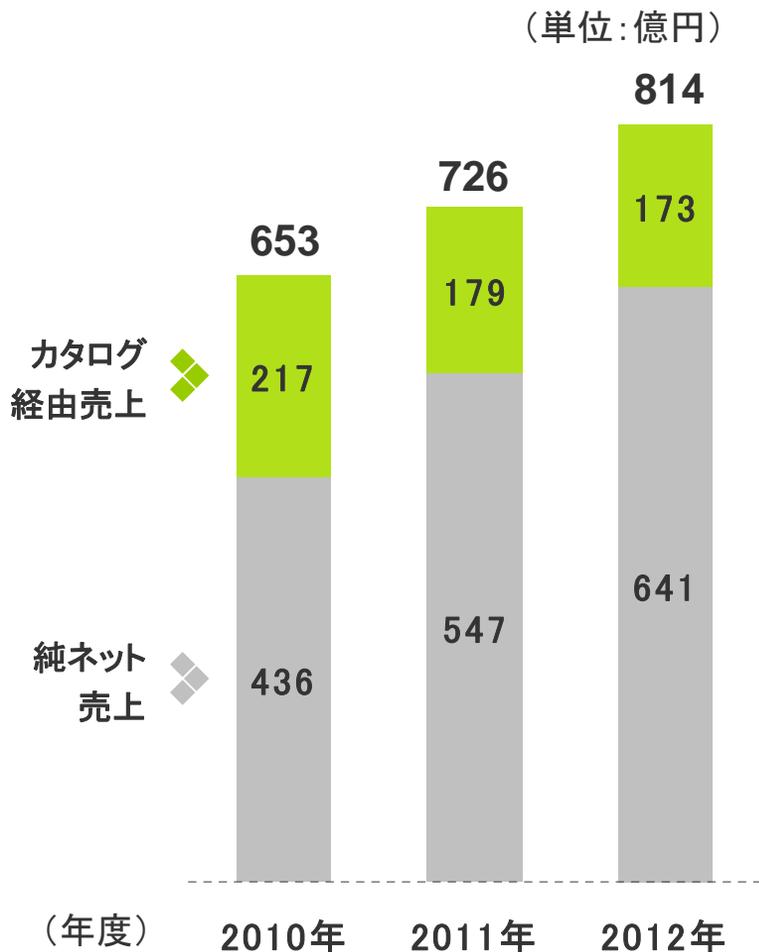


■ カタログ部数推移 (単位:万部)

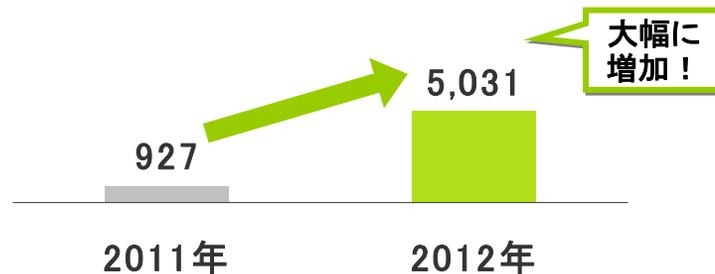


ネット関連指標と今期の施策

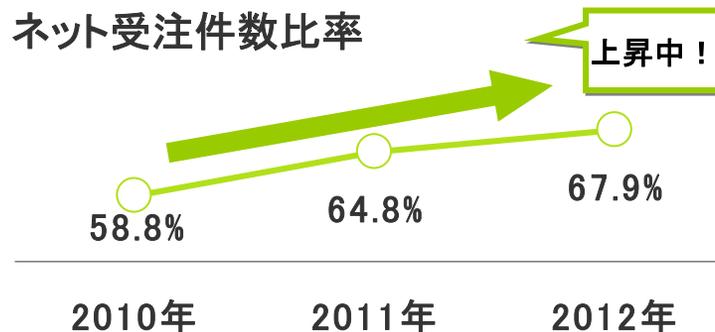
■ インターネット売上推移
(モバイルを含む)



■ スマートフォン純ネット売上 (単位: 百万円)



■ ネット受注件数比率



◆ 2012年10月

『ベルメゾンデジタルカタログアプリ』サービス開始

■ デジタルカタログのアプリ上で動画を再生可能など新機能搭載

■ クロスメディアの取り組み(秋冬のテレビCM)

■ 秋【10月12日～28日に全国で放映】



■ 冬【11月16日～12月2日に全国で放映】



■ 100円ショップやドラッグストアでの設置カタログ



■ 新聞折込やドラッグストア等での配布チラシ



■ ネット新規訪問者のみの送料無料キャンペーンも追加



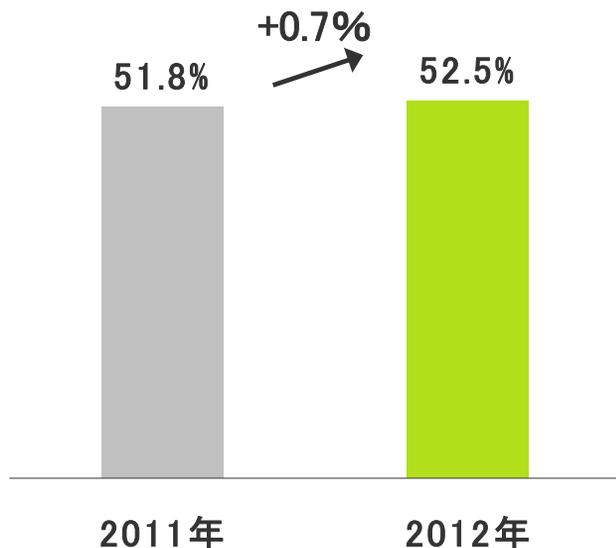
■ 新規会員向け送料無料施策がヒット! 同じくCMを展開した前年を上回る結果に!

2012年度通販事業売上原価率・販管費増減(対前年比較)

売上原価率

販売管理費

(単位:百万円)



- バーゲン売上増加
- 在庫処分売上増加

- カタログ費用：紙単価上昇・頁数増
頁数増に伴う制作費増【+11.1億円】
- 販促関連費：クロスメディアプロモーション
リスティング等による増【+7.2億円】
- 運賃関連費：出荷件数増による運賃、出荷関連費増
【+12.1億円】
- 減価償却費：システム投資による増【+3.6億円】

■ ブライダル事業の概況(対前年比較)

	2011年	2012年	増減
◆ 売上高(百万円)	8,407	10,197	1,790
◆ 営業利益(百万円)	482	752	270
◆ ゲストハウス数(店舗)	13	15	2
◆ 挙式組数(組)	2,105	2,594	489
◆ 挙式組単価(万円)	390.2	382.7	△7.5

- 売上高及び営業利益は、福岡・鹿児島の新店舗の寄与もあり対前年比増加。

法人事業の概況(対前年比較)

(単位:百万円)

	2011年	2012年	増減
◆ 売上高	4,159	3,833	△326
■ 業務受託	2,933	2,656	△277
■ サンプルング	777	785	8
■ ノベルティ	355	314	△41
■ その他	94	78	△16
◆ 営業利益	448	396	△52

■ 業務受託・・・大口受託先の契約終了により対前年比売上減少



3. 2013年度連結業績計画について

2013年度連結損益計画(対前年比較)

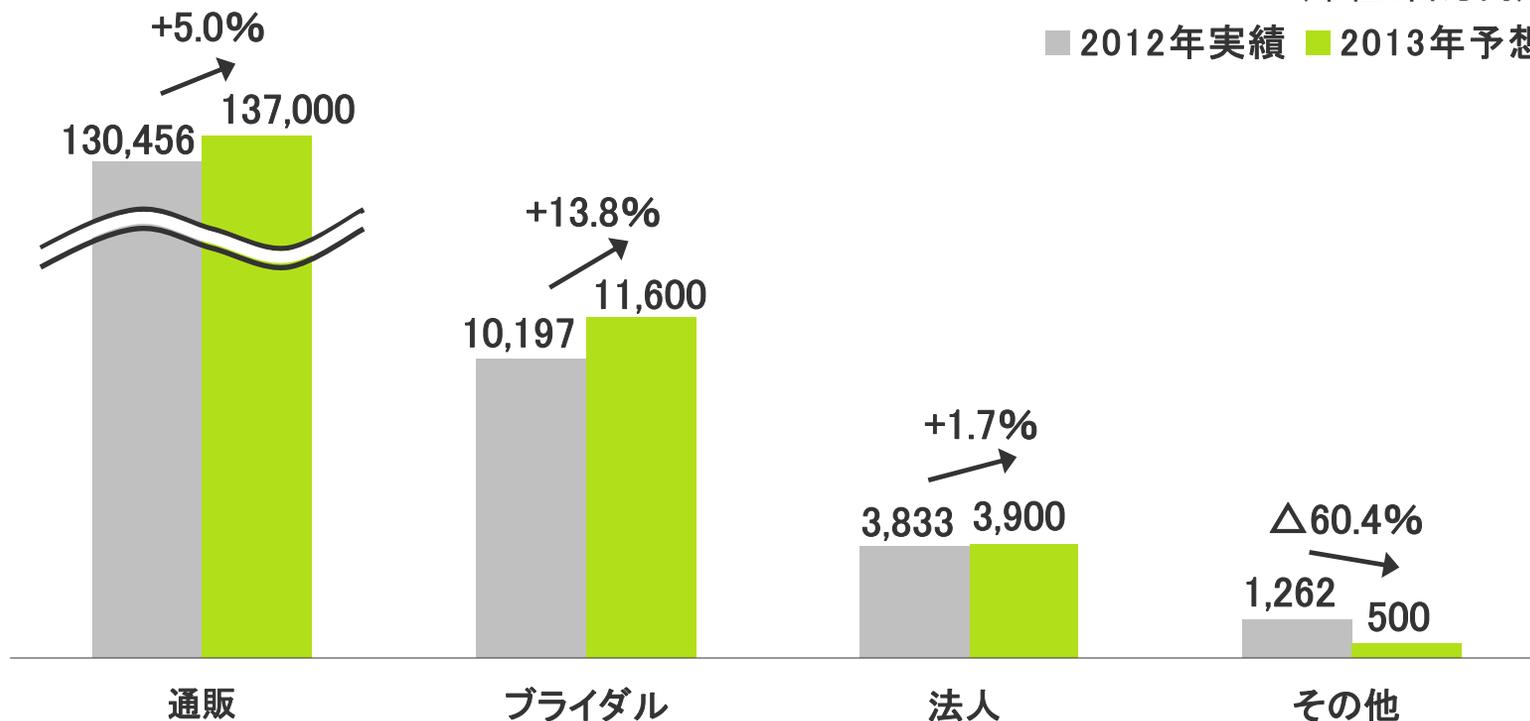
(単位:百万円)

	2012年度実績		2013 年度当初予想		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
◆ 売上高	145,750		153,000		7,250	5.0%増
◆ 売上原価	76,392	52.4%	79,026	51.7%	2,634	△0.7%
◆ 売上総利益	69,357	47.6%	73,973	48.3%	4,616	0.7%
◆ 販管費	67,248	46.2%	69,273	45.2%	2,025	△1.0%
◆ 営業利益	2,109	1.4%	4,700	3.1%	2,591	1.7%
◆ 経常利益	2,765	1.9%	5,000	3.3%	2,235	1.4%
◆ 当期純利益	2,029	1.4%	3,700	2.4%	1,671	1.0%

2013年度連結セグメント別売上計画(対前年比較)

(単位:百万円)

■ 2012年実績 ■ 2013年予想



- 通販事業：さらなるネット売上拡大による売上増
- ブライダル事業：新店舗オープン等による売上増

2013年度トピックス①



- 「わたしの着たい服」再編
 - 幅広い顧客層をターゲットにした「総合版」とセレクト版2誌を発行
- 季節に合わせたカタログ発行
 - 基幹媒体である「わたしの着たい服」と「sumutoco(すむとこ)」でジャストシーズンの年6回発行

- ディアーズブレインのゲストハウス「ザ・リーブス・プレミアムテラス」群馬県前橋市に2013年3月、16店舗目としてオープン！
- パワーモール前橋みなみ内に新設 自然光を多く取り入れた直線的なデザインのスタイリッシュな施設

2013年度トピックス② 海外保税倉庫の集約 (釜山港FTZ【フリートレードゾーン】内に新倉庫)



■【現状の物流拠点の状況】

- 海外生産拠点8拠点のうち、6拠点7倉庫で保税保管を実施。
- 海外保税倉庫～国内出荷倉庫の輸送LTは3日～24日。
- 国内の主な物流拠点は
 - ・中部商品センター(岐阜県可児市)
 - ・鹿沼商品センター(栃木県鹿沼市)
 - ・甲子園商品センター(兵庫県西宮市)の3カ所

■【将来的に目指す物流拠点の状況】

- 全ての海外生産拠点の保税保管を釜山1カ所に集約。
- 海外保税倉庫～国内出荷倉庫の輸送LTは1日～2日。
- 国内在庫を極小化することでトータル物流コストを削減。

2012年度当社グループの社会・環境貢献活動(CSR活動)

■ ピンクリボン運動支援



- 10月21日 スマイルウオーク・神戸に協力・ブース出展。抽選大会を実施、参加賞としてミニラボのピンク・ラブキャットのオリジナルマスコット1,900個プレゼント、啓発チラシ3,300枚配布



- 10月7日 さかい ゆう プレミアムライブ主催ブース出展。マスコット900個プレゼント、啓発チラシ配布
- 10月(ピンクリボン月間)に「乳がん検診無料クーポン券プレゼント」実施
日本対がん協会作成のマンモグラフィー無料検診クーポンを1,000名様にプレゼント

■ オーガニックコットンプロジェクト

- 6月から雑貨インテリアカタログの「sumutoco(すむとこ)」で販売の「オーガニックコットン普及キャンペーン」商品を中心に環境対策を広くPR
(同梱・綴じ込みチラシ、ダンボール箱、キャンペーンサイト、メールなど)



■ 震災復興支援

- 母の日カーネーションプレゼント
5月9~11日、子会社千趣会イイハナの発案で被災された取引先さいとう製菓様とともに大船渡市全仮設1800世帯にカーネーションの鉢植えとお菓子のかもめの玉子をプレゼント



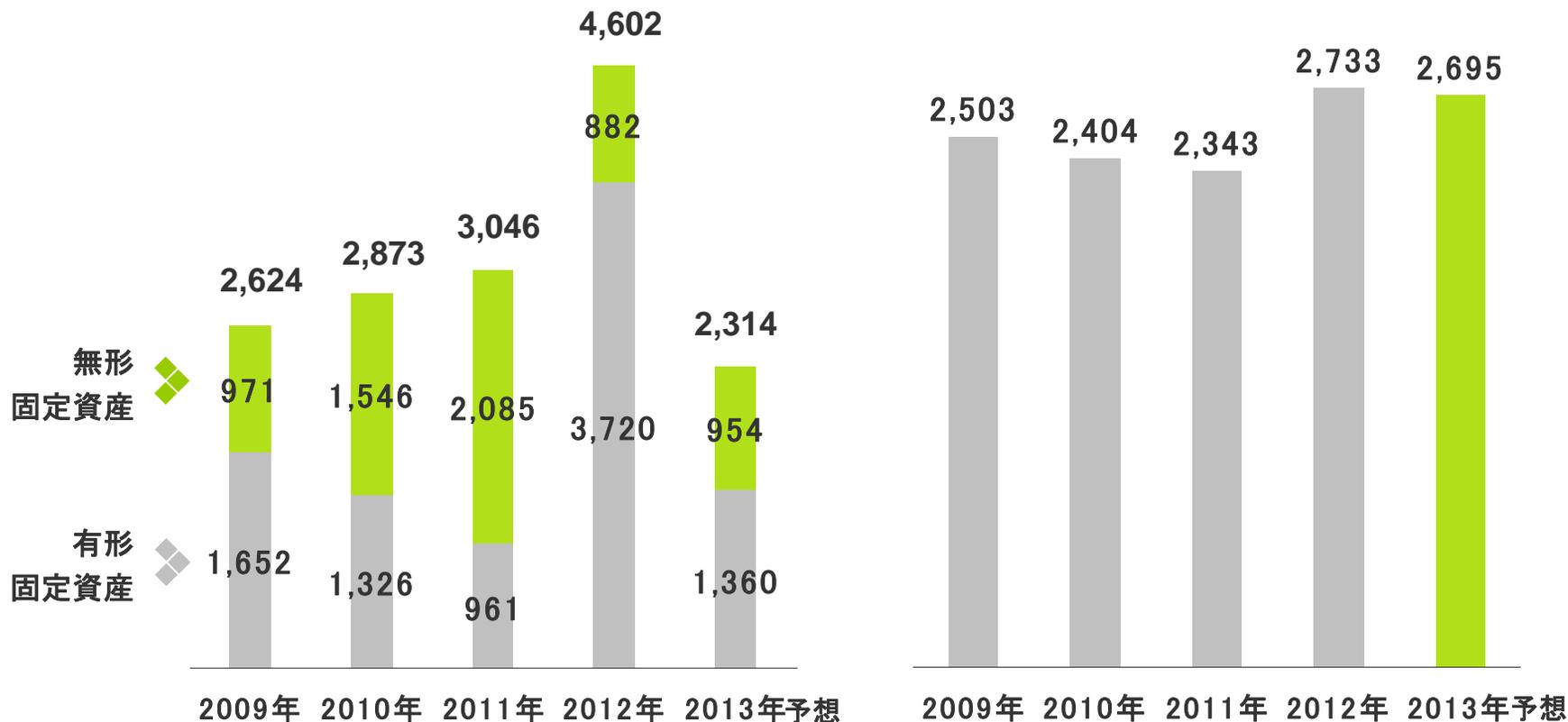
設備投資額・減価償却費推移と計画

■ 設備投資額

■ 減価償却費

(単位:百万円)

(単位:百万円)



■ 有形固定資産：2013年はディアーズブレイン新店舗関連費用が減少

■ 配当・決算発表日程

- 当社の配当政策に関する基本的な方針は、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び適正な利益還元を基本としております。

この基本方針に基づき、2012年度の通期連結業績を勘案し、期末配当金を従来の予想通り10円として、中間配当金と合わせた年間配当金を20円といたします。

2013年度における1株当たり配当金につきましては、年間24円(中間・期末共に12円)の予定です。

- 4月26日 (金) 第1四半期決算発表
 - 7月25日 (木) 第2四半期決算発表
 - 7月26日 (金) 第2四半期決算説明会(東京)
 - 10月25日 (金) 第3四半期決算発表
- 当決算発表会資料記載内容のうち、将来予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

ウーマン スマイル カンパニー

senshukai

なんだか、うれしい、ふだん

朝の新鮮な空気を深呼吸した時のカラダの中から満ちてくる、おはよう。
ほしかった洋服に袖を通した瞬間の、ときめき。
みんなのためにつくるパンの焼き上がりを待っている、わくわく。
そこにあるのは”なんだか、うれしい”という小さな幸せ。

千趣会は、そんな思わずほほ笑むような商品やサービスを届ける存在になりたい。
だからこそ、ものごとの本質をていねいに見つめ、見えないところにも気を配り、
丹精を込めたモノづくりを進めています。